

ふくまの話題

福津市消防団第6分団の新消防車入魂式がありました



2月14日（日）、新しい消防車の入魂式が福間漁港でありました。これは25年振りに新しく配備された消防車のお披露目と入魂の神事を行い安全と無事を祈願する式です。

原崎市長や自治会長(大和町1・2、昭和町、緑町、本町、南町、古町、松原、西福間1・5)が参列中、安部晋平第6分団長は「道路交通法の改正により、普通免許で運転できる消防ポンプ車は5t未満から3.5t未満に引き下げられました。そのため配備された消防車は、以前より小型になりました。しかし性能は今までと同じか、それ以上です」と挨拶されました。展示操法では、消防車に接続された長いホースから青空に向け豪快な放水を披露しました。

新しい消防車が、団員のさらなる士気に繋がり、地域住民の生命と財産を守るために、より一層活躍すると確信した入魂式でした。

(大和2区自治会長 田中義隆)



福間中学校 3月12日(金)
式を終えて体育館から教室へ移動する途中で待ち受け!



福間小学校 3月17日(水)
最後の学級活動後、保護者とともに外で待ち受け!

それぞれの卒業式をお祝いしてきました。
(広報部会 宮木裕子)



卒業生のみなさん、
ご卒業おめでとうございます!

地域交流イベント

地域の交流活動やイベントを紹介します。今月は、**緑町老人クラブ「緑寿会」の「カラオケ合唱サークル」**です。



予約した曲を全員で歌うのでマイクは使いません。ジャンルは何でもありです。この日は、森山直太朗の「さくら」や唱歌「荒城の月」も歌っていました。

そして、始める前にラジオ体操とストレッチを行うのが、みなさんにもおすすめです。

(緑町区 緑寿会 廣渡策生)

「未来会議」だそうなんです。対話を通じて、大人がやっている小さい活動で周りが変わり、大きなアクションにつながるということがわかってとても楽しかったです。会議の場で、子どもたちだけでできる地域活動について発表する安堂さんを見て、大人たちもとてもワクワクしていましたよ。

2030年までに、「子どもがやってみよう」を叶えるための教育環境づくりができるよう、起業を目指します。最後に福津への想いを聞かせてください。

(広報部会 鈴木亜希子)

子育てサロンはなみ

日時:毎月1回(第4木曜日)
10:00~12:00
(8月と12月は休み、
9月は第3木曜)

場所:花見公民館
連絡先:福島(☎43・2137)



※コロナ対策として、検温、消毒、保護者のマスク着用をお願いしています。詳しい日程は、郷づくりの会ニュース・ホームページでご確認ください。

わくわくひろば

日時:毎月2~3回
(月・木曜日)
10:00~12:00

場所:ふくまりん
連絡先:谷岡(☎090・
5722・2838)

※1日6組の予約制です。



「子育てサロン」に遊びに来ませんか? ふくま郷づくりの会には、「わくわくひろば」と「はなみ」の2つの子育てサロンがあります。0歳から就園前のお子さんや保護者の方が、遊んだり、交流ができる場所です。年代のおともだちがいたり、子育ての仲間と出会えたり、ネットには載っていない子育てや地域の情報もわかるかも。そうして、何気ないおしゃべりでも貴重なかもしれません。子育てのちよつと先輩からすこく先輩のスタッフが待っています。ふくまへ転入してきた方、育休中の方も、一度遊びに来ませんか? (子育て支援部会 谷岡智子)



「子育てサロン」に遊びに来ませんか?

ふくまびと 福間人

福津の歌づくり
実行委員会委員長
安堂 容平さん
(花見3区)



『SDGs innovation 2021』(主催 YSP.福岡)でプレゼンを行っている安堂 容平さん

「福津の歌づくり」に携わるなど、まちづくりの活動をしている花見3区の安堂容平さんにお話を伺いました。高校生だった安堂さんが、まちづくりに関心を持ったきっかけは?

小学生の頃からイベントが好きでした。また、中学生になって、「まわしよみ新聞」や「トークフォークダンス」が楽しくて、そこに関わってくださった大人を見て、すごい!と思ったのを今でも覚えています。

ターニングポイントは、中学3年の時に参加した、福津市の「未来会議」だそうなんです。

対話を通じて、大人がやっている小さい活動で周りが変わり、大きなアクションにつながるということがわかってとても楽しかったです。

会議の場で、子どもたちだけでできる地域活動について発表する安堂さんを見て、大人たちもとてもワクワクしていましたよ。

その後、仲間たちと市長・副市長を囲み、子どもが考えていることを伝える座談会を企画しました。さらに、市の親善大使のミサンガさんとの出会いがあつて、「福津の歌づくり」に携わることに。制作のスケジュール管理や歌詞づくりの告知にレコーディングの運営等、自分たちで創造して実践するのが面白かったです。

4月から大学生になる安堂さんの夢は。

2030年までに、「子どもがやってみよう」を叶えるための教育環境づくりができるよう、起業を目指します。最後に福津への想いを聞かせてください。

子どもたちがやりたいと思うことを、大人全員が全力でサポートするまちであってほしい。そうなれるよう、自分もがんばりたいと思います。

(広報部会 鈴木亜希子)